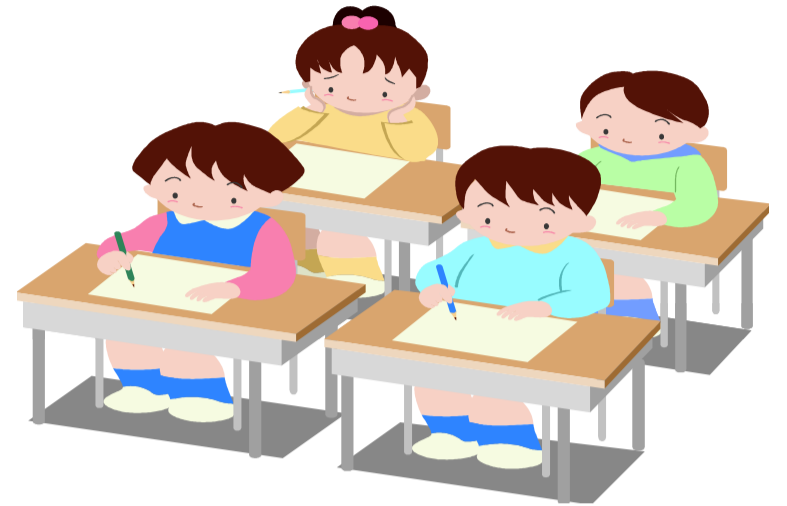


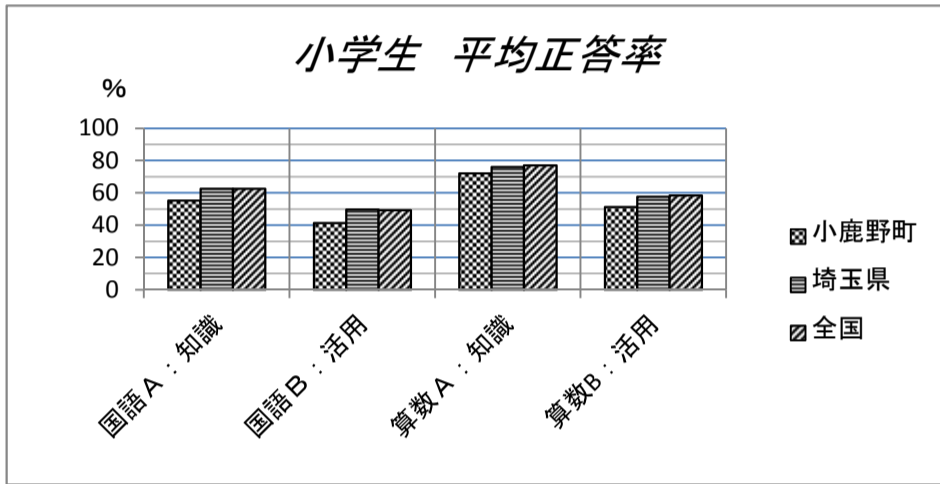
平成25年度全国学力・学習状況調査が4月24日に全国の小・中学校を対象に行われました。その結果について、文部科学省から8月下旬に公表されましたので、小鹿野町の小・中学校の状況についてお知らせします。

この調査は、全国の小学6年生と中学3年生を対象に実施されました。調査内容は、国語と算数・数学の2教科についての学力テスト（基礎的な内容のA問題と応用力を問うB問題）、学習習慣や生活習慣などについての質問紙調査（アンケート）になります。

なお、この調査により測定できるのは、国語と算数・数学の学力の一部であることや学校における教育活動の一側面であることを踏まえ、序列化や過度の競争につながらないように配慮した上で、結果を分析して今後の教育活動に生かしていきたいと考えています。



## 国語A・B 算数・数学A・Bの概要について



### ◎良好な点（正答率の高かった問題の抜粋）

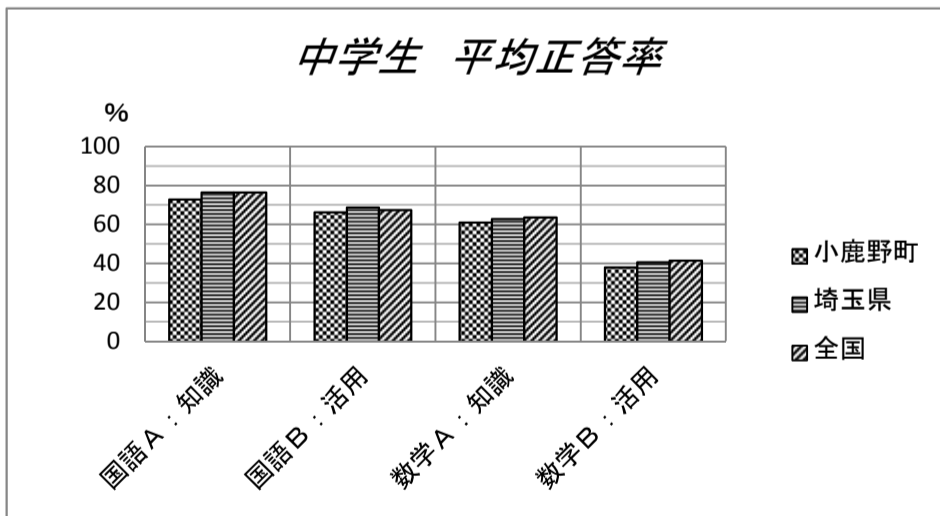
- ・国語Aでは、「文の表現の工夫と効果について適切なものを選ぶ」
- ・算数Aでは、「分数のたし算」「長さの測定に用いる計器を理解している」「円柱の見取図と展開図について理解している」
- ・算数Bでは、「示された情報から位置を特定する」

### ▲課題となる点（正答率の低かった問題の抜粋）

- ・国語Aでは、「漢字の読み書き」と「1つの文を2つに分けて書く」
- ・国語Bでは、「問題文中から必要な内容を引用して書く」
- ・算数Aでは、「台形の面積を求める」や「200センチの50%の長さを選ぶ」
- ・算数Bでは、「示された式に数値を入れて計算し、大小を判断する」

小学生の平均正答率については、国語A・B、算数A・B（A問題は基礎をみる内容、B問題は応用力を問う内容）ともに全国、埼玉県とほぼ同様の傾向にあり、平均正答率はやや下回っています。

抜粋に示したように、問題によっては、正答率が高い問題も多くあります。また、反面、課題として考えられる正答率の低い問題もありました。基礎的なところでは漢字や面積、割合の問題がやや弱く、日頃の地道な繰り返し学習が必要です。活用力については無回答率が高い問題が見られました。少し難しい問題でも粘り強く考え、自分なりに答えが導き出せるように取り組むことが必要です。



### ◎良好な点（正答率の高かった問題の抜粋）

- ・国語Aでは、「文中における語句の意味を理解する」
- ・国語Bでは、「行書を楷書で書く」「根拠を明確にして自分の考えを書く」
- ・数学Aでは、「正の数負の数の計算」「連立二元一次方程式をつくる」
- ・数学Bでは、「証明の方針を立てることができる」

### ▲課題となる点（正答率の低かった問題の抜粋）

- ・国語Aでは、「伝えたい事柄を明確にして書く」
- ・国語Bでは、「漢字の読み」（社会を風刺する 山々が連なるなど）
- ・数学Aでは、「平行四辺形の条件を理解している」
- ・数学Bでは、「与えられた情報を言葉で表された式で処理する」

中学生の平均正答率についても、全国、埼玉県と同様の傾向にあります。やや平均正答率は下回っていますが、大きな差は見られません。一人一人の持てる良さをさらに伸ばしていくことにより、小鹿野町全体としてさらに向上していくことが期待できます。

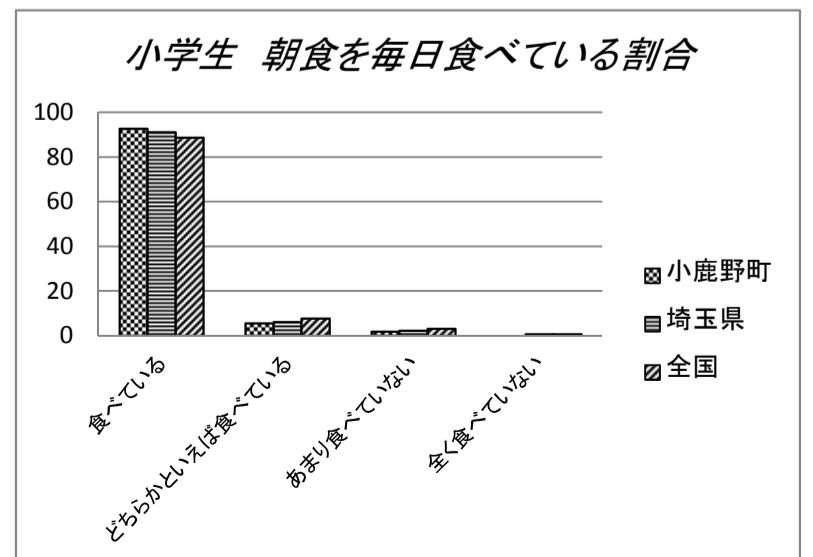
## 児童・生徒質問紙調査（アンケート）の概要について

次に、生活習慣、学習習慣や規範意識などについてのアンケートとして実施された「児童・生徒質問紙調査」の集計結果から見てきた小鹿野町の小・中学生の良いところと今後努力してほしい課題についてまとめてみました。

### ◎小学6年生の良いところ（抜粋）

「朝食を毎日食べていますか」の質問では、毎日食べてから学校へ行く子どもたちの割合が高いことがわかります。朝食は1日の活動力の源であり、脳の働きを活発にし、集中力や記憶力が高まると言われています。また、統計的にも朝食を毎日食べている子どもたちは学力や運動能力も高い傾向にあることがわかっています。

今後も、子どもたちの望ましい生活習慣の形成に向けて、ご家庭でのご理解とご協力をお願いします。



◎中学3年生の良いところ（抜粋）

「今、住んでいる地域の行事に参加していますか」の質問では、埼玉県や全国と比較した場合、参加している割合が高くなっています。このことは、太鼓や歌舞伎などの伝統芸能に親しんでいる成果であり、地域の方々のご指導とご協力の賜であると考えます。また、地域の方々とのふれあいや交流が深まり、伝統文化や郷土の歴史について体験を通して学べる良い機会でもあります。

今後も地域との関わりを大切にして、自分の生まれた地域に誇りを持ち、やがては地域に貢献することのできる大人に育ててほしいと思います。

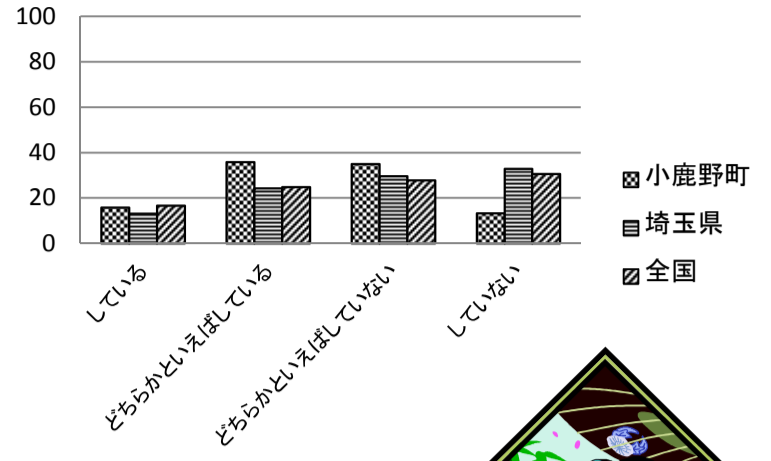
▲小学6年生・中学3年生の課題となる点（抜粋）

一方で、生活習慣や学習習慣について課題となる点も見えてきました。「普段（月～金曜日）テレビやDVDなどを見る時間」が埼玉県や全国と比較してみると、全体的に長い時間見ていることがわかります。

また、「学校以外の1日当たりの勉強時間」や「1日当たりの読書時間」などは、やや短い傾向にあります。

今後の取り組みとしては、テレビやDVDを見たり、テレビゲームなどを行っている時間を減らして、家族の団らんや家庭学習または読書の時間に充てることができるとさらに良いのではないのでしょうか。家庭においても、学力向上に向けて、子どもと一緒に生活習慣の改善と学習習慣の確立について話し合ってみてください。

中学生 地域行事への参加割合

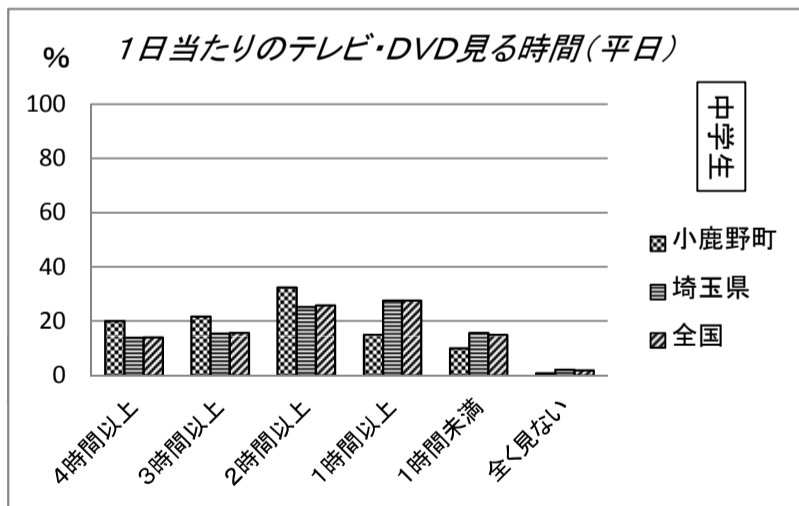
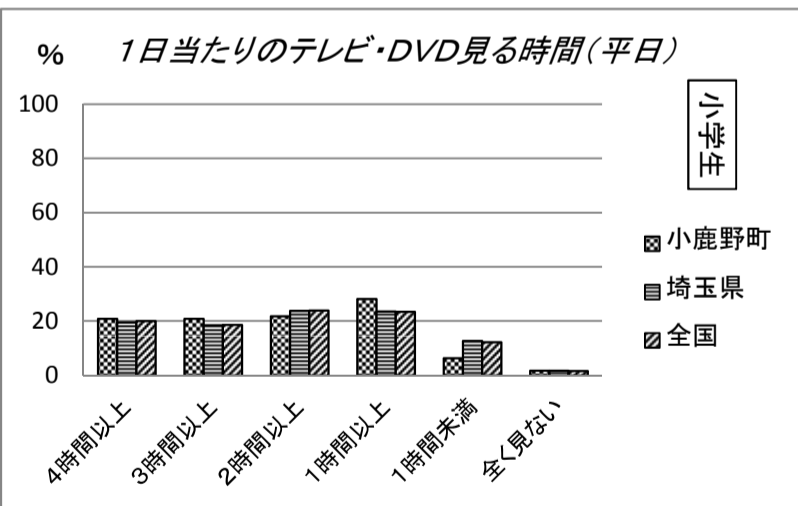
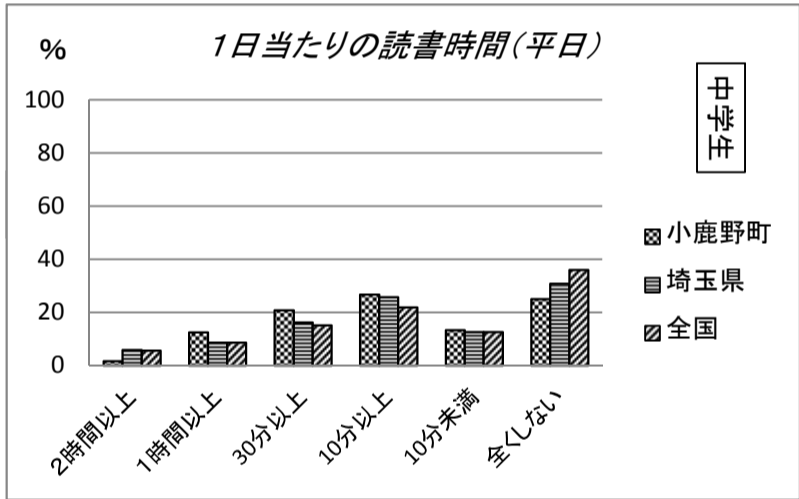
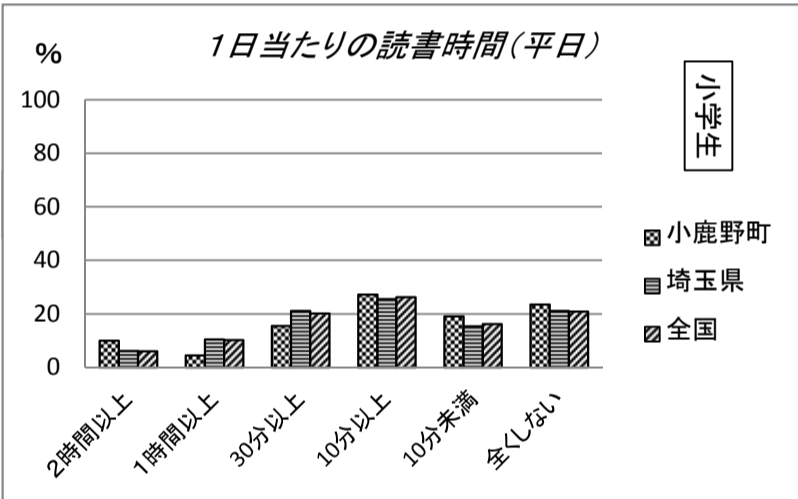
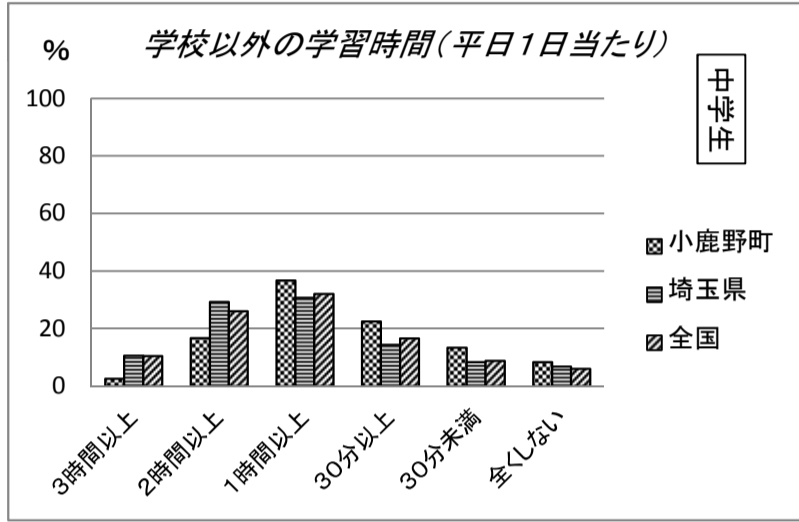
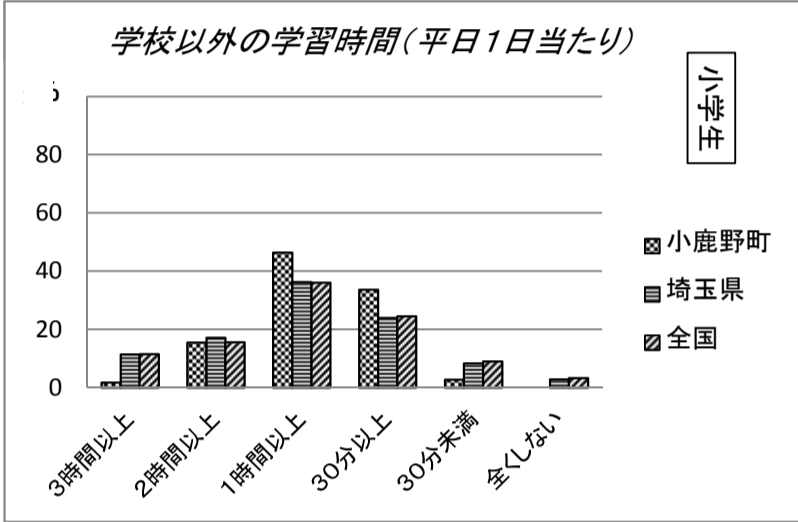


まとめ

小鹿野町の子どもたちは、地域の行事などから伝統文化を学ぶ経験も豊かであり、学力テストだけでは測れない素晴らしい長所をたくさんもっています。

教育委員会としては、この結果を受けて、良い点はさらに伸ばし、課題については改善に向けて学校と連携して授業研究を行います。また、1時間ごとの目標やめあてを明確にした学習が行えるよう授業改善等に取り組んでいきたいと考えております。

家庭におきましては、学校とさらに連携していただき、学校からの宿題はもちろん、テレビやゲームの時間を減らし、学力向上に向けて読書や家庭学習に取り組む習慣を一層身に付けていただき、生活習慣や学習習慣の改善にご協力をいただきますようお願いいたします。



小鹿野中学校大規模改修・増築工事と中学校統合について

小鹿野中学校大規模改修・増築工事につきましては、9月定例議会において契約議決案件として審議され、賛成多数で可決をいただき本契約することができました。

今後の工事予定につきましては、所要の手続きや準備が整いし大規模改修・増築工事に着手し、工事期間中は、生徒や学校関係者、近隣住民皆様の安全を第一に工事を進め、平成27年3月の工事完了を目指します。

また、小鹿野中学校を統合校とした中学校統合につきましては、現在、「小鹿野町中学校統合実施計画書(案)」の作成や学校統合等に関する事項を審議し住民合意を図るべく「小鹿野町教育審議会(仮称)」、統合中学校の開設にあたっての諸課題(通学、部活動、制服等)の具体的な事項を調整・検討するための「小鹿野町中学校統合準備委員会(仮称)」の設置に向けた取り組みを、教育委員会と小・中学校PTA会長による協議の中で進めている状況です。

今後もできる限りの情報提供をさせていただき、中学校統合実施計画書(案)がまとまりしだい、保護者説明会を計画したいと考えています。何卒、保護者ならびに町民皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

